

ぱるす

四季の会・ユーザーズ・サービス

190号

発行人 浅沼 邦夫

拝啓 桜花の候、先生におかれましては益々御活躍のことと存じます。

今まさに大変化の時代、税理士の一つの変化に、2006年4月より「新・会計法」が施行されます。会社設立が簡単に！有限会社廃止と起業ブームが起きるか！などといわれています。「起業家を尊敬」が1割しかない国。エコノミスト臨時増刊4月11日号によると、ベンチャー育成の立場から、「堀紘一 ドリームインキュベータ社長」が書かれていました。非常に参考になりました。

「起業家を尊敬」しない日本国

日本の由緒正しきエリートとは、小学校時代から塾に通って一流の中学・高校に入り、さらに東大・早慶など一流の大学に進んで、大企業に入ったり官僚になったりする人のことだ。

そういうエリート路線に乗れない人が、ベンチャーを興す。エリートの下にずっといてもチャンスがないから、いっちょやるか、と挑戦する。たまたま当たればもてはやされるが、失敗すれば敗残者になる。それが、日本のベンチャーの実態なのだ。

理由は簡単だ。ある世論調査機関が世界各国で行った調査によると、「あなたはアントレプレナー（起業家）を尊敬しますか」という質問に対し、尊敬すると答えた人は米国では9割に達する。ドイツ、フランスは少し減って6～7割。英国は金銭を蔑視する傾向があるせいか4割と、白人国家の中で一番低い。では日本はどうかというと、「尊敬する」が何と1割しかない。つまり、がんばってベンチャーで成功しても尊敬されず、「何か汚いことをやって儲けているんだろう」と言われてしまうのが日本という国なのだ。大きな企業にさえすれば、

実は何もしていなくても尊敬されるのだ。

人間にはいろいろな欲望があるが、人に尊敬されたいという気持ちは、けっこう根元的な欲望の一つだと思う。そこが変わらないと、本当の起業ブームは起こらない。

お隣の韓国は、かつて「アントレプレナーを尊敬する」が日本並みの1割だったが、今や米国並みの9割に急増したという。以前の韓国は日本をモデルとしており、サムスンなど財閥系大企業に入る人がエリートとされた。それがIMF管理下の経済変革を経て価値観が大転換。米国で教育を受けた若手が枢要なポストにつくようになり、モデルが一気に米国に変わった。結果、優れたベンチャーが輩出し、経済も大躍進している。

中国も、共産主義でありながら、実はビジネス大好き、金儲け大好きな国柄で、一流大学の卒業生が続々とベンチャーへ流れ込んでいる。日本はベンチャーについては完全に後進国になってしまった。

今の日本の現状を冷静に見れば、起業ブームどころか廃業ブームだ。何しろ1986年以降、廃業率が開業率を上回っている。75年ごろまでは開業率が相当高かったのだが、当時に比べて日本人のパイオニアスピリットは、明らかに低下し、“寄らば大樹”になっている。

さすがにこれではいけないというわけで、さまざまな対策が打ち出されてきた。株式市場の中にも多くの新興市場が作られ、創業間もないベンチャーでも上場して資金調達をする道が開かれたし、ベンチャーキャピタルも山ほどできた。日本には知恵も冒險心も乏しいが、金だけはある。問題は、その金を投資すべき優れたベンチャーが少なすぎるのだ。

多少期待できるのは、子どもが「大企業のサラリーマン」に夢を持ってなくなっていることだ。サラリーマンの父親は、家ではテレビを見てゴロゴロしているだけで、どうにも尊敬の対象になりにくい。しかも昨今は、リストラの嵐で給料が減り、失業の恐怖にさいなまれている。一生懸命勉強していい大学に行って大企業に入ってもいいことはないのでは、と子どもが疑問を持つのは当然だ。

とはいえ、大企業の内定を蹴ってもベンチャーへ、という若者はまだ圧倒的に少ない。そのあたりの価値観があと数年でどの程度変わるか、の微妙なところだ。実際にどうなるかはわからないが、そこに期待をしたからこそ、私もベンチャーの一人として、ドリームインキュベータという会社を立ち上げたわけだ。

口ぐせが人生を支配する

NHK「わかば」でおばあちゃんの「口ぐせ」の「生きてるだけで、丸もうけ」、これは人生にも、企業にも大事な「口ぐせ」と

思えるのです。

佐藤富雄医学博士の著書「自分を変える魔法の口ぐせ」の中で、口ぐせの原理がある。

「言葉が考えをつくり、人生を支配する」言葉の使い方の癖（言語習慣）を変えよう、物事の受けとめ方や考え方の癖（思考習慣）も良い方向へと転換を図れるものである。

「口ぐせの実践」がある。

脳を活性化する「快」のメッセージ

「これで良かった」「大丈夫だ」「これも自分にプラスになることだ」「何、なんとかなるさ」「私ならきっとできる」「さあ、頑張ろう」「必ずできる、とにかくやってみよう」「私に解決できないことは、私には起きない」「問題の解決策は、思いがけないところにあるはずだ」「いい勉強になった、これから必ず運が良くなる」

やる気の脳を刺激する言葉

「いいねえ」「やったぞ」「その調子だ」「よしっ、いいぞ」「今日も一日すばらしい日になるぞ」「私の人生は良くなる一方だ」「未来はどんどん開けていく」「楽しいこと、嬉しいことがたくさんあった」「恋も仕事も順調だ」

脳に栄養を与える言葉

「ありがとう」「とても嬉しい」「今とても幸せだ」「私はとても愛されている」「私は大事に思われている」「周囲のみんなに慕われ、尊敬され、頼りにされている」「人生はすばらしい、毎日が楽しくてたまらない」「大きな望みを達成するのは、やりがいがある」「良いことは長続きする」「私の夢は必ず実現する」「どうしてこんなにスイスイ事が運ぶのだろう」

仕事や事業を成功に導く言葉

- ・「そのアイデア、すごくいいねえ」
- ・「これなら必ずうまくいくね」
- ・「大成功間違いなしだ」
- ・「大きな発展のチャンスだ」
- ・「私に任せてください」
- ・「いい仕事をしよう！」
- ・「一生懸命に仕事をして、お金を得て、長年の夢を実現させよう」
- ・「仕事は人生における大きな愉しみ、喜びのひとつだ」
- ・「大きな目標を達成するのは実にやりがいがある」
- ・「自分が興味を持つことや、学んできたことを生かせる仕事で成功しよう」
- ・「健康で長生きする成功者はみな楽道家である」
- ・「彼はビジネスセンスが抜群だ。今後の活躍に期待している」
- ・「上司は頼りがいのある先輩、部下は自分を支えてくれるありがたい存在」
- ・「自分の価値は、会社での地位や順位などでは決まらない」
- ・「今は経済的に未熟だが、これからどんどん豊かになっていく」
- ・「私は、技術という才能を買われて現在の会社にいる」